



2014年9月

CeBIT 2015 のメインテーマは「d!conomy」

ビジネスと社会の形成に、ますます大きな役割を果たす IT とデジタル化

2015年3月16日（月）から20日（金）までドイツ・ハノーバー国際見本市会場で開催される国際情報通信技術見本市 CeBIT（セビット）2015 では、ビジネスと社会のあらゆる領域で急速に拡大しつつある IT の影響力と、技術革新のカギである IT の役割に焦点があてられる。ドイツメッセ株式会社 CeBIT 担当取締役副社長 Oliver Frese（オリバー・フレーゼ）は「CeBIT の主催者と出展社の IT 業界は共同で、CeBIT 2015 のメインテーマにデジタル経済を象徴する造語『d!conomy（ディ！コノミー）』を選定した」と語った。そして、「あらゆる分野に広がるデジタル化はビジネスや社会生活において、より多くの側面を形成しつつある。IT は既存のビジネスモデルを変革すると同時に、まったく新しいビジネスモデルを生み出している。今や IT には、産業全体を根本から急速に変革する力がある。2015 年のテーマ『d!conomy』は、これらの進展を一言で表現している」と続けた。

また Frese は、この数年間の革新的な IT 業界のトレンドについて言及し、具体例としてビッグデータ、クラウドコンピューティング、モビリティ、ソーシャルメディア、セキュリティなどをあげた。Frese は、こうしたトレンドが急速に発展してきたこと、さらに現在、これらが一体となって、ビジネス世界と社会全般に極めて大きな影響を与えていることを指摘した。「これらが一体となることで、抜本的な技術革新が大きな変革の力を持つようになり、すでに産業の新しいデジタル時代の夜明けをもたらしている」と語り、ドイツ国内の特に重要な関連トピックとして、ドイツ政府が産業のデジタル化を政治的優先事項の一つに決定したことを挙げた。



現在、産業全般にわたるトレンドとして、ビジネスモデル、生産プロセス、製品の開発において、デジタル技術がますますけん引役を果たすようになってきていることがある。「デジタル化のトレンドは広範囲に及んでおり、官民両セクターで多数のビジネス機会が生まれている。適切な戦略と投資を展開することで、中小企業も多国籍大企業も等しく、グローバル市場における競争力の優位性を確保できる」と Frese は語った。しかしその前に、加速度的に進展するデジタル化への移行にユーザーが対応できるようにすることや、データと IT システムの安全性を確保することも重要である。CeBIT 2015 はこうした課題をすべて網羅する国際情報通信技術見本市である。

メインテーマ「d!conomy」に含まれる大きな包括的テーマとしてはモノのインターネット「Internet of Things」のほか、ネットワーキングとインテグレーション（統合システム）へのトレンドがあげられる。製造業において、これらのテーマは一般に第 4 次産業革命「Industry 4.0（インダストリー4.0）」と呼ばれており、デジタル化によって統合される生産活動やマシン間コミュニケーション「M to M」に向けた一体的な取り組みを意味する。こうした動きは非常に複雑な生産プロセスと、メーカーと協力会社間の緊密なインテグレーションを特徴とする自動車業界で特に顕著である。同時に、生産されるクルマには多数のデジタル機能とネットワーク機能を搭載しており、これらの機能は、今日の競争市場で差別化のカギになりつつある。同様にサービス業界では、ビッグデータ、クラウドコンピューティング、モバイル機器、ソーシャルメディアを利用し、個々のニーズに対応できる新サービスを開発している。物流業界も輸送能力の最適な利用を実現するために、こうした技術を採用したアプリケーションを積極的に採用している。さらに、デジタル化のトレンドは小売業界にも広がっており、デジタル・コンテンツによって店内での買い物を充実させるために、ビーコン*注¹などの新しいハードウェアの利用が増えている。また、医療分野では、莫大な量のデータをわずか数秒で処理できるようにし、まったく新しい診断法や治療の選択肢の実現を可能にしている。



Vodafone Global Enterprise の CEO で CeBIT Exhibitors' Committee (CeBIT 出展社委員会) 委員長の Jan Geldmacher (ヤン・ゲルトマッハー) は、「デジタル化はビジネスのあらゆる分野で、技術革新をけん引してきた。そして今、IT と電気通信業界がデジタル化をけん引している。なぜなら、デジタル化は高速データ・ネットワークと高性能ソフトウェア/ハードウェアに大きく依存しているからだ。CeBIT 2015 では我々出展社のデジタル時代へのクライアントの移行を支援する取り組みや、デジタル化がもたらす世界中のビジネス機会を活かす取り組みを、ぜひご覧いただきたい」と述べた。

Frese は「こうした全テーマをワンストップで取り上げ、そこから生まれる大きなビジネス機会に関してだけでなく、課題に関して多様な展望を提供できるのは CeBIT だけだ」と自信を覗かせる。そして、会場では実際のアプリケーションや製品の形で「d!conomy」を体験できることも付け加えた。「d!conomy」は CGC (CeBIT Global Conference / CeBIT 国際会議) の基調テーマでもあり、CGC には 100 名を超える世界のトップレベルのスピーカーの登壇が期待されている。

報道関係者の方へ：CeBIT 2015 のメインテーマ「d!conomy」に関するビデオを www.cebit.de から無料でご覧いただけます。記事執筆の参考資料としてご利用ください。ソーシャルメディアでの拡散も歓迎致します。

*注 1: ビーコンとは無線を発し、その無線が届く範囲の機器などに情報を伝えるハードウェア。Bluetooth Low Energy (BLE) を搭載したビーコン機器を店舗などに設置すれば、そのビーコンに近づいた人の持つスマートフォンやタブレット端末に、お知らせやクーポンなどを配信することができる。



Deutsche Messe

CeBIT 2015

国際情報通信技術見本市

会期：2015年3月16日～20日

会場：ドイツ・ハノーバー国際見本市会場



ドイツメッセ株式会社

ドイツ・ハノーバーを本拠地とするドイツメッセ株式会社は、世界 10 大見本市企業の一社であり、世界最大の国際見本市会場を運営している。2013 年には 3 億 1,200 万ユーロ（約 430 億円）の売上高を計上した。同年には世界各地で 119 の見本市と会議を企画、立案、主催し、その出展社数は計 41,000、来場者数は計 400 万にのぼった。CeBIT ハノーバー（情報通信技術）、ハノーバーメッセ（国際産業技術）、CeMAT（イントラロジスティック）、DOMOTEX（フロアカバリング）、LIGNA（木工林業機械）などの、世界をリードする各種産業見本市を運営。従業員数は 1,000 名を超え、100 か国以上をカバーする代表事務所、子会社、支店を世界 66 か所で展開している。

当リリースの全文は[こちら](#)です。

他のプレスリリースと写真は以下のサイトからダウンロードできます。

<http://www.cebit.de/en/press-service/>

CeBIT に関する詳細はハノーバーフェアーズジャパン株式会社へお気軽にお問い合わせ下さい：

ハノーバーフェアーズジャパン株式会社

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-5-1 Tobunsha BLDG 1 階

Tel: (03) 5215-7121 Fax: (03) 5215-7122

<http://www.hannovermesse.co.jp/>